

The 36th Annual British Columbia Japanese Speech Contest

10:00 AM - 5:30 PM
Saturday, March 2, 2024

University of British Columbia
Asian Centre

Speech Collections
優秀作品集



第 36 BC 州日本語弁論大会

日時: 2024年3月2日土曜日 10:00~17:30

場所: ブリティッシュコロンビア大学 アジア・センター

実行委員会:

Rebecca Chau, Chair (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Ihhwa Kim (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Kyoko Kobayashi Hillman (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Masumi Abe (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

Kaori Tanaka (UBC/ブリティッシュコロンビア大学)

司会者:

Yuma Gagnon and Tielia Young, UBC

審査員

高校部門

Ms. Grace Ho	R.A. McMath Secondary
Ms. Mari Honma	JALTA
Ms. Mari Miyamoto	West Vancouver Secondary/Sentinel Secondary
Mr. Daiki Yoshizaki	Kiyukai

大学部門

Ms. Yoriko Gillard	Capilano University
Dr. Nick Hall	UBC
Mr. Kazuhiko Kadono	Listel Hospitality Group
Ms. Tomoko Kitayama	Asian Library, UBC
Mr. Shoji Manabe	Konwakai
Mr. Yasushi Yogo	Mitsui & Co. (Canada) Ltd.

全出場者は[大会プログラム](#)をご参照ください。

受賞スピーチ集

High School Beginner 1位

かばんに何を入れますか

ガブリエラ・オカジマ Gabriella Okajima

École Alpha Secondary School

私の名前は、岡島・ガブリエラです。苗字は日本人です。でも、ブラジルで生まれ育ちました。父は日系ブラジル人3世ですが、日本語を全く話しません。こどものころはあまり意識していませんでしたが、最近、私の日本人としてのアイデンティティーについてよく考えます。日本語もゼロから勉強し始めました。自分のバックグラウンドのことをもっとよく知りたいからです。

バンクーバーには戦前に大きな日系コミュニティがあり、戦争が始まったとき、日系人は収容所に送られたと聞きました。その日系人たちは、カナダ政府から「72時間後に手に持てるだけの荷物をもって指定場所に集合しろ」と言われました。あまり多くを持っていくことはできなかつたはずですが。

新しい環境に適応するのは難しいことです。私はブラジルからカナダに引っ越した時身をもって経験しました。皆さんが、もし今、手に持てるだけの荷物を持ってどこかに行かなければならなくなったら、かばんになにを入れますか。私がかばんに入れるものは、思い出のアルバム、カナダに来て初めて着たプレゼントにもらったジャケット、ブラジルから持ってきたぬいぐるみです。どれも私と私の周りにいる人との一番大切な思い出の品であることに気づきました。人との思い出が不安な生活を精神的に支えてくれるお守りになるということだと思えます。

収容所に送られ、私財をすべて失った日系人。そしてそこから這い上がった日系人のことを考えると、私も日系人として、頑張れるような気がします。私には日本人の血が流れていると思うとパワーが湧いて明るい未来が見えてくるのです。

皆さんは、かばんになにを入れますか。

High School Beginner 2 位

あなたの隣人を愛せよ

ダニエル・チュー Danielle Chu

Lord Byng Secondary School

クリスチャンの家庭で育った私は「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」という考えの中で育ちました。初めて戦争や不正義について学んだとき、私は困惑しました。なぜ人々は愛が簡単な解決策なのに戦うのでしょうか。年を重ねるにつれて、戦争、自然災害、不正義に苦しむ人々のために何ができるか考えるようになりました。

去年の11月からシニアハウスでボランティア活動をしています。身体的、精神的な苦しみを抱えた高齢者たちと向き合う仕事です。高齢者が家族を思い出して泣いている時私はその手をしっかりと握りしめます。ある女性が死の恐怖を告白する中、私は彼女の話最後まで聞いてあげます。

悲しいことばかりではありません。レオン・レッドボーンの歌に喜びを感じる男性と踊ったこともあります。音楽についての話の中で、男性の目にきらめきを見つけました。その時私は、他人の幸福がどれだけ私の気持ちを明るくするかを実感しました。また、アルツハイマー病を患う男性に「あなたを知らませんが、あなたがここにいる時はとても幸せです。」と言われた時の嬉しい気持ちを忘れることはできません。

私は宇宙の中のちっぽけな存在かもしれませんが、常に隣人を自分自身のように愛し、思いやりのある心と共に、これからも生きていくつもりです。こうしたボランティア活動の経験を通じて、私は将来、人の人生にポジティブな影響をもたらすキャリアを追求したいと思います。

High School Beginner 3 位

間違いから学ぶ

カトリーナ・ヒックス Catriona Hicks

Dover Bay Secondary School

私は、三年ぐらい日本語を勉強しています。その間、日本人の友達を作って、日本語で喋りました。始めは私の日本語はすごく下手だと友達は私を笑っていました。たくさん間違えて、大切なことを学びました:間違いは怖いけど、世界の終わりじゃないんです！

間違いは、将来的に見れば、面白くなるかもしれません？

自分の最もおかしい間違いのリストを集めました。

1つ目、倒れた椅子を指さして、「見て、あれ、溶けてるよ。」と言いました。友達は、それをイメージして、笑っていました。その日、「倒れる」という言葉をならいました。

2つ目、ダンスクラスで、私は友達にダンスを教えながら、話していました。「こんな風にムボク。」と説明しました。

でも友達は動かないでじっとしていました。ただ、おかしい顔で、私を見ていました。

踊りながら「ムボク」を繰り返しました。その日、新しいことを学びました。「動く」が正しい言葉で、「ムボク」と言う言葉はありません。「ムボク」は私が作った言葉です。

最後は、ある日、出会った人が「友達になりたい」と言いました。

私は「俺も友達になりたい」、と答えました。友達が私を笑って、新しいことを教えてくれました。「おれ」は男子の人だけの言葉だと学びました。

その恥ずかしい経験は全部今、大切な思い出です。だから、私の経験から学んだことはとてあえず言うてみることです。間違いから新しいレッスンができます。正しければ、喜びが自信につながります。間違いを恐れなくて、話してみることが大事です。七転び八起きと言う、諺もあります。友達が私の間違いを聞いてくれて本当に感謝しています。

High School Intermediate 1 位

学校制度

ビクター・ベアス Victor Beas

Vancouver Technical Secondary School

僕はビクターと申します。南米のチリの出身です。今日は、僕が経験したチリとカナダの学校制度の違いについてお話したいと思います。

チリはカトリックの国です。学校では宗教の授業が義務付けられ、カトリックでなくても毎朝祈り、ミサに参加しなければなりません。教育の質も、あまりいいとは言えません。与えられた宿題が必要以上に多く、僕は気が散りやすいため、毎日の宿題を終わらせるのに苦労しました。両親は学業に対して非常に厳格で、週末はほぼ一日中勉強しなければなりませんでした。チリでの学校生活は、僕と両親、特に僕と父親の関係を悪くさせ、ある日僕は学校に行けなくなってしまいました。なぜなら、父は僕の価値を成績でしか見ていなかったからです。二年前に母と二人だけでカナダに来ましたが、今でも父親との関係は複雑です。

カナダの学校制度を表す完璧な言葉は「自由」です。一年間の授業を自分で選ぶと知った時、とても驚きました。宿題の量もちょうどよく、期日前に終わらせることができます。成績が僕の価値に影響を与えることはありませんから、母親との関係も良好です。ただ、自由とは反対にいろいろな責任もあります。自分で作った時間割にあわせて、タイムマネジメントをしなければなりません。カナダは ボランティア活動も卒業に必要なので自分の責任でやっておかなければなりません。

無理なくできることを確実にこなすカナダのやり方が、僕には合っています。僕は、カナダで自由と責任を学びました。自分で考え、自分で判断し、自分で行動する力をつけてくれるのがカナダの学校制度だと思います。

みなさんは、今の学校が好きですか。両親との関係はいいですか。カナダの学校システムの中にいるとあまり気づかないかもしれませんが、僕のように別の国から来たら、カナダの学校システムが素晴らしいものに見えますよ。カナダの高校生であることに感謝しましょう！ もしチリもカナダと同じような学校制度だったら、父はもっと僕の価値を認めてくれたのではないかと考えることがあります。将来僕は父に認められる人になるために、自分の責任を果たしながら、自由な環境で自分らしく向上していきたいと思います。

High School Intermediate 2 位

家族とのつながり - My Family Connection

永田 エミリー Emily Nagata

R.A. McMath Secondary School

継承語を話せる事が特権だと思いますか、それとも、自分の文化的なアイデンティティを維持するために継承語が期待されていると思いますか。

こんにちは皆さん、私の名前は永田エミリーです。母も父も私も百パーセントカナダ日系人です。父は三世で母は四世で私は五世だから、珍しいですね。家族は第二次世界大戦前からカナダに住んでいました。そして、もちろん、みんなが日本語を話しました。しかし、今は、だれも日本語を話せません。私はいつも、「日本人」だけど、なぜ日本語を話す事が出来ないのかと思いました。でも、答えは簡単ではありません。戦争が始まったときに、日系人は「敵」と呼ばれました。人種差別と迫害に直面しました。だから、戦争後、日系人は目立たないように西洋人のように暮らすことを学びました。子供たちも西洋人にさせられました。そして、その子供たちは文化的なアイデンティティを失ってしまいました。七十五パーセントの二世は外国人と結婚をして、三世までに日本語を話せる人は二パーセントだけでした。では、五世はどうなるのでしょうか。

人々は文化的なアイデンティティが大事と気づいているから、今は人々の考えかっさも変わりました。私も 文化的なアイデンティティが 大事と気づいているから、繋がりがほしかったです。他の日系人との交流を探さなければなりませんでした。ある和歌山出身の一世の人に出会いました。そして、言うまでもなく、日本語の勉強が必要でした。そのおかげで、継承語を話せる事が特権かどうかについて学びました。もし自分の継承語が分からなくてもいつでも学ぶ事が出来ます。

この場をかりて、私の家族、先生、その他の人たちに感謝を言いたいと思います。今の自分があるのは、この人たちのおかげです。「ありがとう。」

High School Intermediate 3 位

神隠しの魔法: 千と千尋の異世界が教える社会と環境の秘密"

シャキーラ・ゼン Shakira Zheng

Sir Winston Churchill Secondary School

皆さん、この世の中ですべてはお金で交換しなければならないと知られたのはいつだったか覚えていますか？ 子供の頃に、「フリーランチなどというものはない」または「食べ物は空から降ってくるわけではない」という表現を聞いたことがあるでしょう。つまり、すべてのものにはお金がかかり、そして無料なものはないという考えを伝えます。このような価値観は「千と千尋の神隠し」の最初のシーンに表現されています。そこでは、主人公の両親がヤタイの食べ物をお金も払わずに食べることで、ぶたになってしまいました。

今日は「千と千尋の神隠し」について話をしたいんと思います。

私が初めて見た日本の映画は、2001年のオスカーキンショウを受賞した「千と千尋の神隠し」でした。『千と千尋の神隠し』を見ると、日本の文化と歴史を学びだけでなく、社会の構造もより深く理解できました。

また、この映画から異世界を通して、現実世界の問題を反映されています。例えば、銭湯で働いた幽霊たちから社会の階層とその複雑さが見えます。これは青蛙のキャラクターを見ればわかります。彼は顔なしのお金にきよひできず、そしてカオナシにくわれてしまいました。青蛙の決断は社会の人々と似ています。なぜなら私たちはふだん、自分にとって悪いことにもかわらず、他人の行動に簡単に影響を受けています。社会問題の上に、環境保護や他のテーマも千と千尋の神隠しの中に明らかになります。たとえば、はくはもともとこはく川の精霊でした。しかし、その川が破壊されて、都市化の環境になりました。ハクが霊界に移住した理由を知るにつれ、都市化の問題が明らかになります。同じく、銭湯に現れた腐れ神は泥とゴミにまみれていて、環境汚染の影響を示しました。千尋が腐れ神を浄化するシーンの中で、人間が作った問題は人間だけで解決できることが表現されました。

『千と千尋の神隠し』は日本の文化と歴史を表現するという点ではすでに完璧だと言っても過言ではありません。さらに、千尋の物語と彼女が会うキャラクターから社会問題を学ぶことができ、とても魅力的な作品だと思います。ご清聴ありがとうございます。

High School Open 1 位

「和に込められた思い」

長谷川和樹 Kazuki Hasegawa

John Knox Christian School

僕の好きな言葉は自分の名前の一字でもある「和」です。理由は、その一文字に宿る多くの意味と、僕の生まれた日本が「和」を大切にし、その影響を受けているからです。

この言葉が好きな理由の一つは、「和」が表す多様な意味合いです。和食や和服を表す際には、日本文化の象徴として使われますが、同時に平和や調和を指し示す言葉としても使われます。また、和やか、穏和という時は穏やかな状態を表します。この一文字が様々なコンセプトをまとめて表していることにすごく魅力を感じます。この「和」がもつ沢山の意味合いに日本、また日本人は知らず知らずのうち影響を受けていると私は思います。

「和」の意味であるのどかさや穏やかさ、争わない心は僕たちは小さい頃から学びます。それにより、他者との調和を重んじる姿勢が、日本社会に根付いていることにも魅力を感じます。

「和」の精神は、共同体を大切にし、協力して困難を乗り越える力を生み出します。そのためには個々の多様性を認め、尊重することが求められます。社会全体でこれらのバランスを取ることが重要であり、個人の発展と社会全体の調和を両立させることが求められます。決して安易なことではないのです。

歴史を振り返って見ると、日本は様々な困難に立ち向かう必要がありました。特に戦後はものすごい努力が求められました。しかし、日本中が「和」の精神により、国を再建し、世界でGDP二位にまで上り詰めることが出来ました。僕自身、カナダに住む中でも、この「和」の精神が僕の行動や考え方に影響を与えているのを感じることがあります。学校の出し物などで、クラスメイトと意見を交わしそれを調和することで一つのものを作り上げることに喜びを感じます。

日本を象徴する最大の価値観は「平和」だと思います。日本は歴史を通じて平和を学び、その成果として今では度々世界で安全な国の一つとして挙げられます。しかし、この平和だけが「和」の全てではありません。時には「大和魂」が必要です。困難に立ち向かう勇気と忍耐力が、「和」の中にも秘められているのです。約一年前のサッカーワールドカップでは、日本の選手たちは「大和魂」を見せてくれました。選手たちは一体となり、協力し合いながら最後の1mm諦めずに、粘り強く、逆境に立ち向かう姿は、日本だけでなく世界中を驚かせました。

これまで述べてきたように、「和」だけで沢山の意味を持ちます。しかし、「和」が僕の好きな言葉である理由は、その言葉が持つ多くの意味だけでなく、日本文化が形成した和の調和と協力の精神が私の考え方や行動に深く影響を与えているからです。日本自身のことも表す「和」

の中には古代から日本人が大切に受け継いできた精神が全て込められていると感じます。歴史を振り返って見ると、飛鳥時代に日本で最初の憲法、憲法十七条を制定した聖徳太子は第一条に「和を持って貴しとなす」と定めています。

僕は自分の名前の一字でもある「和」の精神を受け継ぎ、大切にしていきたいと思います。

High School Open 2 位

私が日本で先生になる意味

有浦 弓 Yumi Ariura

Vancouver Japanese Language School

突然ですが、みなさんは「ごくせん」という日本のテレビドラマを知っていますか？

「ごくせん」は、日本の学校を舞台にしたドラマです。

そこには、生徒一人一人に寄り添う先生の姿が描かれています。その先生は、どんな状況でも生徒のことを一番に考え、手を差し伸べるのです。

私は、このドラマに登場する先生の姿に感動し、「先生」という仕事に憧れを持つようになりました。

その影響で、私は、小学生の頃から、漠然と日本で先生になりたいと考えてきました。そこで、この機会に「カナダで育った私が、なぜ日本で先生になるのか」について、見つめ直してみたいと思います。

まず、カナダと日本の教育の違いについて考えました。

カナダの教育を「個人」とするならば、日本の教育は「集団」です。

カナダの教育は、やりたいことと、やりたくないことを個人が選ぶことができます。どの教科を

勉強するのか、学校に行くのかさえも個人に委ねられます。

日本では、集団でペースを揃えて決められたことを学んでいくことで、全員が一定の学力を身につけます。また、日本の学校では勉強だけでなく、学校の行事や部活動を通じて、周りと協調することも学ぶことができます。しかし、集団行動が多い分、我慢して周りに合わせなければならぬこともあるかもしれません。

このような違いがあるため、カナダでは、少し周りと違うことをしたとしても、それはその人の「個性」として認められます。

しかし、日本では、集団に合わせる意識が強いので、周りに合わせられなかったりすると、仲間からはじかれてしまうことがあるような気がします。

そのため、日本には、集団にうまくなじめずに悩んでいる子どもや、個性を隠して生活することに苦しんでいる子どもがいると思います。

私は、カナダで自由な教育をうけてきました。

その過程で、さまざまな人に出会い、色々な個性があることを知っています。

そんな私だからこそ、私が憧れを持った先生のように、子ども一人一人に寄り添い、理解して、手を差し伸べることができると思うのです。

これが、カナダで育った私が、日本で先生になる意味だと考えます。

日本で先生になるためには日本の大学で学んで教員免許を取る必要があります。

私は3歳から日本語学校に通って、日本語を勉強してきました。今年度からは日本の大学の入学試験に向けて小論文の勉強も始めました。

しかし、小論文の勉強をすればするほど、今の自分に学力が足りていないことに気付かされます。

今になって、もっと真面目に勉強しておけばよかったと思います。

後悔しても、試験までは残り半年しかありません。試験に合格するためには、やらなければならないことがたくさんあります。

夢を叶えるために、もうやるしかない。

このスピーチをきっかけに、いま、この時から、行動を変えていきます。

High School Open 3 位

日本とカナダの薬物規制について

サーシャ・ワーナー Sasha Warner

École Alpha Secondary School

カナダは2018年に18歳以上の人にマリファナの使用と所持が法律でゆるされました。あれから5年。みなさんはカナダのマリファナ合法についてどう思いますか。カナダはG7の中で一番最初にマリファナを合法にしました。これは他の国にどのような影響を与えているでしょうか。日本とカナダを比べながら、薬物規制について考えてみました。

まず、日本とカナダでは法律の違いがあります。違法なドラッグでもカナダは自分のものであれば逮捕されません。これは個人の自由という考え方があるカナダではコントロールできないと思います。反対に日本では違法なドラッグは持っているだけで逮捕されます。

次に、人びとの考え方の違いがあります。カナダではドラッグ中毒者がいても「そうなんだ」くらいの感じです。日本では、もしドラッグを使ってしまったら、警察につかまる、仕事がなくなる、友だちもいなくなると聞きました。人生がほぼ終わってしまうのです。とても大きな違いだと思います。

日本では、カナダのようにマリファナを合法にしようという人がいるそうです。私は反対です。なぜなら日本とカナダでは、法律も人びとの考え方も違うからです。ドラッグの入り口になるマリファナをカナダは合法にしないほうが良かったと思います。それは5年前より中毒者が30%も増えているからです。日本はマネしないほうが良いと思います。

みなさんは、バンクーバーダウンタウンイーストサイドに行ったことがありますか。ほとんどの人はこのエリアに行かないと思います。でも私は、このエリアにある日本語学校に2歳から通ってます。そして、年々増えるドラッグ中毒者を見てきました。本当に心が痛みます。

今、薬物規制のルールは世界中で必要だと思います。法律はその国の人や考え方で決められるもので、他の国にあわせる必要はないと、私は思います。

High School Best Effort (Beginner)

「僕にとって日本語はなんですか？」

ジョン・フー Sean Hu

Richmond Secondary School

みなさま、おはようございます。僕の名前はジョンです。今日僕は、みなさんに、なぜ日本語を学び始めた理由を話したいと思います。

僕は二年前から日本語の勉強を始めました。その時から、僕はときどき、なぜ日本語を選んだのか、こういう疑問に思ったことがあります。僕は中国出身で、生まれ教育受けていたときから、ずっと日本について否定的なことばかり聞いていました。戦争の歴史や、日本人がやったこととか、日本について悪い言葉を学校でよく聞いていました。ある日、学校に行く途中で、日本製のかばんを持っていると、友達に僕を国家の裏切り者だと呼ばれました。その時から、僕は日本について話すことを考えるのが怖くなりました。

しかし、カナダに来てから、状況が変わりました。ここには、多様な文化がありますので、誰もが他の国のことを差別待遇することがありません。そして、僕はさまざまな文化と繋いで、日本についての言葉をもっと聞きました。なぜなら日本の音楽を聴き始め、漫画を読み始め、アニメを見始めたからです。日本語で話す人々の声を聞くと、いつも落ち着いてリラックスできます。日本語はまるで特別な魔法のようであり、僕にとって、その言語自体と日本人の喋り方はとても魅力的だと思います。そして、中学二年生の時、学校の先生から外国語の授業を選ぶように言われ、僕は日本語を選びました。僕は日本語を学ぶことを選んで本当に良かったと

思います。日本語を話すことで、文化をより深く理解できるだけでなく、今このように日本語で話せることに感謝しています。

僕にとって日本語は、世界を異なる視点から見る方法を意味し、常に物事を別の視点で考えることができることを思い出させてくれます。例えば、国や文化が異なれば、物事に対する考え方も異なりますが、日本語を学ぶことで別の文化に基づいた視点で物事を考えることができます。日本語を話すことについて怖がっていた僕が、再びその魅力に惹かれるようになるまでの変化について考えると、環境が自分の考え方を決定するのを許さず、自分で物事を探求し、自分で考え方を決めるべきだと学びました。これが僕の理由と感情です。

みなさまにとって日本語はどんな意味を持っていますか？

University/Open Beginner 1位

ビターコーヒーとケーキ

ケリー・デン Kelly Deng

University of British Columbia

話を始める前に、こんなシナリオを想像してみてください。人気の喫茶店に入って、メニューを見て、何を注文したらいいのかわからない。でも、ネットでたくさんの人が「この店のビターコーヒーがすごく美味しい」と言っているし、他のお客さんたちもビターコーヒーを注文している。あなたは本当はあまりコーヒーを飲まないが、とりあえず、そのコーヒーにしてしまう。飲んでみると、苦すぎて全然好きじゃない。その時、皆さんはどうするだろうか？ コーヒーを無駄にするか、我慢して飲むか、あなたは決して気にしないかもしれません。では、もしこの喫茶店が大学で、選んだ苦いコーヒーがあなたの専攻だったら、どうしますか。

大学に入った時、生物学を専攻しようと思って、たくさん科学の授業をとりました。そして、1年生の終わりまでかかって、やっと生物学を専攻したくないことに気づきました。でも、大人はサイエンスのほうがいいと言っているし、周りの友達もみんなサイエンスを選ぶし、私はサイエンスをしなければいけないと思いました。それで、みんなの話を聞いて、ぼんやりとサイエンスに

決めました。2ヵ月後には後悔しましたが、自分が何になりたいのかわからなかったのも、そのまま勉強を続けました。

そこからまず分かったことは、自分の本心が大切なもので、早く見つけたほうが良いということです。将来、もっと色々な人生の選択があるので、いつでも他の人の言うことを聞いて決めるのはダメかもしれないということです。

今学期、もともと専攻を変えるつもりでした。そう、最初は生物学の専攻をやめなければ、大学生活は真っ暗だと思っていたんです。でも、先学期から日本語の授業を取って、また大学生活への興味を取り戻しました。すると、突然、生物学も嫌じゃなくなっていました。生物学の授業はずっと難しくつまらないけれど、日本語の授業があるので大学が楽しみになりました。このまま専攻を文系に変えることも考えましたが、留学生なので、現実を考えてやっぱり生物学専攻に残りました。日本語の勉強も理科の家庭教師もできるから、文句はありません。でも、もう一度専攻を選び直せるなら、ぜったい生物学は選ばないと思います。

同じように、みなさんも、喫茶店であまり好きじゃないコーヒーを注文してしまったら、次回は同じのを選ばないと思いますが、今回はまず美味しいケーキを追加して苦いコーヒーを少し甘くしてみたらどうでしょうか。私にとって、生物学がビターコーヒーなら、日本語はおいしいケーキみたいなものです。このような組み合わせなら、終わりの見えない大学生活も悪くなさそうです。人生には、時々自分の理想と合わなくても受け入れなければならないことがあります。そのときは、自分の好きな「ケーキ」で乗り切るのもいい方法だと思います。

University/Open Beginner 2 位

私のヒーリング

イェリン・ハー Yerin Hur

Langara College

今、私は翻訳家として仕事をしています。でも、子供の時は夢がありませんでした。両親が「将来何をしたい？」と聞いた時、私は「わからない。。。」と答えました。だから、一生懸命考えました。最初は医者になりたいと思っていました。でも高校生の時、病気になって、卒業できませんでした。とても悲しかったです。全身がすごく痛かったので、手術を二度もしましたが、学校に行けませんでした。そして病気の治療のため、色々な薬を飲まなければいけませんでし

た。大変でした。その時、体が疲れすぎたので、医者になるのはちょっと無理だと思いました。夢を諦めなければいけませんでした。

それで「今、どうしよう。。。これから、一体何をすればいいのか。。。私ができることを探そう。」と考えました。すごく不安でした。でも、ふと「あ、そうだ！私は英語と韓国語が話せる。」と気が付きました。そして、幸いにも翻訳の仕事を見つけました。始めは本当に難しかったですが、頑張って働きました。後は「高校を卒業しよう！」と決めました。

2020年にオンラインで授業を取って卒業しました。とても嬉しかったです。すぐに大学に行く予定でしたが、パンデミックのために行けませんでした。また、待たなければいけませんでしたが、でも、希望を捨てませんでした。そして、2022年にランガラ・カレッジに入りました。今、私はフリーランサーとして働きながらフルタイムの学生をしています。今年はUBCに編入するつもりです。アジア研究を専攻したいと思います。そして日本語の勉強をずっと続けて、日本語の翻訳家になりたいです。それが私の新しい夢です。夢は変わったけど、大丈夫です。最近体が少し元気になりましたが、私のヒーリングはまだ終わっていません。でも、心配しないでください。今はゆっくりと人生を楽しんでいます。そして私の夢は叶うと信じています。私の話を聞いてくださってありがとうございました。

University/Open Beginner 3 位

私の葛藤

セーラ・ムソジ Sara Moussodji

Langara College

セーラ・ムソジと申します。今日は高校生の時の経験をお話したいと思います。言語障害があるので、時々生活が大変でした。始めは、恥ずかしがり屋でしたから、たくさん友達を作る事ができませんでした。子供の時から、いつも一人で遊びましたが、ある日友達ができることができました。一緒にぬいぐるみで遊んだり、パジャマパーティーをしたり、しました。子供時代の一番幸せな時間でした。大人になっても親友でいようと思っていたのですが、同じ高校に入れませんでした。高校でも、友達ができるように、スポーツをしたり、クラスメートと話してみたり、しましたが、私の言語障害がいつも負担になって、うまくいきませんでした。れきしの授業で先生が私たちの夢の仕事を聞きました。それで、通訳と答えましたが、授業の後で、先生は私に話さなくてもいい

仕事を選ぼうと言いました。その時は本当に悲しくになりました。話す声が高いので、いじめられていたからです。それからは、自分の声と話し方が大きらいになりました。でも、言語を習う事が大好きだから、勉強を続けます。まだ声と話し方がきらいですが、私の性格を好きでいてくれる友達を作りました。大変かもしれませんが、障害がある人も夢をかなえる事ができます。今も通訳になりたいと思っています。いろいろな経験は私に障害を乗り越えて前に進む事を教えてくれました。そして、今日、スピーチコンテストに出ることができて、とてもうれしく思っています。これからも困難に負けず、がんばるつもりです。私の話を聞いてくださってありがとうございました。

University/Open Intermediate 1位

自分自身から私を守ってあげるもの

ソヒ・リ Seohee Lee

University of British Columbia

毎朝、私は日本語の授業が始まる一時間半前に教室へ行くことにしています。確かに必要以上に早く起きて学校に行くことは大変ですし、早く学校に行っても勉強するわけでもありません。ですが、その一時間半は私にとって一番大切な時間です。皆さんは私が一人で教室でいったい何をしているのかと思うかもしれませんが、皆さんの期待とは少し違って、私が毎朝していることは教室のホワイトボードに絵を描くことです。

私の絵はほとんどが人の絵です。毎日違うキャラクターで違うポーズを描いていますが、よく見たらそれぞれの絵の雰囲気は私とその日に抱いている感情を映しているようです。特にある雰囲気を演出しようとしたわけでもないのに、どうして私の絵は自分の精神状態を素直に表しているのか、理解していませんでした。ですが、私の絵を見てくれた、多くのクラスメートと話した後、ある答えを見つけました。

私が毎朝絵を描くことを知っている周りの人の中には「絵を描くのはいつでも、どこでもできるのに、どうしてわざわざクラスが始まる前にこんな面倒なことをするのか」、その理由を聞いたがる人も随分いました。そのたびに私はいつも「ただ私がそうしたいから」と答えましたが、なぜ「そうしたがっているのか」は自分自身でもあまりわかっていませんでした。多分、絵を描くことは小さい頃からずっと続けているから、クラスのホワイトボードに絵を描くことが誰でもすることではないことも気づいていなかったのでしょう。そしてある日、私の日本語の先生が私

の絵を見て私が伝えたかった感情を全部当てた時、私がこんなに絵をホワイトボードに描くのが好きな理由は、それが私の「感情を表現する手段」であるからだと気づきました。

実は、私が表現の重要さを気づいたのはそんなに前のことではありません。前は 家族と友人に「ソヒが何を考えているのかわからない時がたまにある。自分の考えをもっと口にすべきだよ」とよく言われたのです。それを聞いて私は「話したからと言って、どうせ全部伝えられないから、何か変わるというわけでもない」と考えました。もちろん誰かと話すことが大事なのはわかっていますが、自分の考えや感情をいつも口に出して表現するのは、相手が私のことを自己中心的だと感じる可能性も、それが人間関係を悪化させる可能性もあります。それに、人生には、自分の話を聞いてくれる人がいない時も、本心を言わない方がいい時もあるはずです。こんな状況になると、人は心を閉ざして、壊れてしまうかもしれません。そうならないため、私が絵を描くことを選んだように、誰もが一人で自分の心の中を表現する手段が必要だと思います。

私は誰かが私の絵をみて、私の感情に気づいてほしいわけでも、評価してほしいわけでも、何か特別な感情を感じてほしいわけでもありません。だから、次の日その教室に着いた時、それがきれいに消されていても、全く気にしません。また新たにホワイトボードに向かいます。私にとって絵は、つらい時に自分を慰めて、前に進めるようにしてくれる私なりの「武器」なのです。この武器はこれからも、自分の悪感情に飲み込まれるたびに私を守ったり、救ってくれるはずです。皆さんはどうですか。皆さんにも自分を守る何かの武器が、自分を救える手段がありますか。

University/Open Intermediate 2 位

私に自信を与えてくれる魔法のアイテム

ユキ・ジョウ Yuki Zhou

University of British Columbia

子供の頃の大切な思い出になっているものが一つあります。冬の上海は風が強かったの
で、防寒のためにいつも両親からマスクをするように言われました。当時の私は自分のピンク
色のくまのマスクが大好きだったので、毎日していました。さて、近年、コロナの影響で、世界

中の人々がマスクをつける習慣を持つようになりました。しかし、マスクはウイルスを予防するためだけではなく、社会生活や文化の大切な一部になったと私は思っています。

まず、マスクは季節や環境が変わった時に人を守ってくれます。例えば、春は花粉が飛散するピークの時期なので、花粉症の人は、春にマスクが必要です。また、中国では、黄沙や空気の悪さから自分を守るために、冬にマスクをつけています。私は小さい頃、両親からマスクを使うように言われていましたが、母はアレルギーがあるので、今私の方がかえって母にマスクをつけるように言っています。

今は、当時の私のように可愛いマスクをしている子供が少ないです。しかし、色々なマスクの使い方が生まれて、マスクは新しいファッションになってきました。例えば、最近、中国では、「メガネ+マスク+黒いジャケット」という組み合わせが誰でもイケメン・美人に変われるということで、魔法のアイテムとして、中国の若者に非常に人気があります。一方、日本では絵が描いてあるマスクや動物の顔マスクという多くの独創的なマスクがあるそうです。私は中国人と日本人の美に対する表現方法が違って、中国人は全体を考え、日本人は部分を大切にすることで、マスクの使い方も違うと思います。また、日本や韓国の女性は出かける時に、化粧ができなかった時はマスクをつけて隠すそうです。私もパンデミックの時に、マスクを使って、顔の半分だけ化粧していました。マスクを隠す顔は化粧しなかったので、化粧品が節約できて、本当に便利でした。

ファッション以外に、マスクは私のような内向的な人を大いに助けてくれたと思っています。私はバスに乗っている時に、いつも自分の自由な空間が欲しいです。マスクとヘッドホンをしていたら、他人に社交の距離感があるので、少し安心できます。しかし、近年、マスク依存症がある人々の数が増えてきているそうです。「マスク依存症」というのは、マスクに過度に依存し、マスクをしないと不安になってしまうことです。その理由は、人々は社交を恐れ、本当の自分を他人に見せたくない気持ちも持っているそうです。私は、依存症ではないと思いますが、時々、他人にみられたくない時もあったので、マスクに依存する気持ちがよくわかります。そのため、マスク依存の悪循環にならないように、私たちはその重要な問題にも注意した方がいいと思います。

パンデミックの頃、マスクをしている人々は他人に「病気の人」という悪い印象を与えて、他人から避けられていたことが多かったと思います。しかし、マスクは医療アイテムとしてだけでなく、多くの文化や社会的な役割を持つようになりました。マスクは新しいファッションとなっ

て、人々に自信を与えているかもしれません。今のマスクは多くの面白い使い方があるので、マスクへの偏見を減らした方がいいのではないのでしょうか。

聞いてくださってありがとうございます。

University/Open Intermediate 3 位

筋肉の価値

ラン・モ Ran Mo

University of British Columbia

六年前の私に「大人になったらどんな人になりたいか」と聞いたら「周りの人を笑わせる人」と答えるでしょう。その時、高校に入ったばかりの私はスポーツも勉強も苦手だったので、周りの人を笑わせた時だけが私を特別な気分させてくれました。しかし、スポーツの得意な友達やすべてのテストで百点が取れる友達と比べて私の独自性は取るに足らないものだとよく感じていました。この劣等感のせいで、私は周りの人を笑わせられないと自分には価値がないだろうと考えていて、私の精神衛生が徐々に悪くなりました。そして、コロナ禍によって授業がオンラインになった時、私はすでに悩むことに飽きていました。いつも周りの人を笑わせるのに疲れていたから、もうオンラインの授業にも出席しなければ周りの人を笑わせなくてもいいと考えました。しかし、その考えのせいで私を幸せにしていた「オモシロいやツ」という形容詞を完全に失いました。唯一のアイデンティティをなくした私は宿題も食事もせず一日中アニメを見ていました。ベッドから身を起こせない私は、こんなことをしていたら、いい将来なんてあるはずがないと思って憂鬱になりました。

数ヶ月後、ある夏の真夜中に、ユーチューブの動画を見ていると、「六分だけで腹筋ができる運動ルーティン！」という変な動画が出てきました。十五歳の私はこの動画のインストラクターの体格を見て、この人のような体に私もなれるんだらうかと思いました。時間はたくさんあったので、久しぶりに運動してみました。たったの六分後、床の上に横になっていた汗まみれの私は息を弾ませていました。しかし、トイレの鏡には筋肉ゼロの情けない自分の体が映っていたのに、なぜか私の顔に微笑みが浮かびました。

その後すぐ、何かに目覚めた私はダンベルを買って、毎日運動して、ちゃんと食事もしました。少しずつ体作りをしたので、知らないうちに鏡に映る私の体に進歩が見えてきました。十六歳になって家の近くのジムの会員になりました。そこでパワーリフティングというスポーツを紹介され、それに夢中になった私は二年後にUBCのパワーリフティング大会に出場しました。この大会のために訓練したときに、私に助言や励ましの言葉をくれたパワーリフティング選手に出会いました。彼らと共通の趣味を持っていた私は、お互いのパワーリフティングの経験を語り合ったおかげで、自分が彼らと同等の人間だと思えて、やっと周りの人を笑わせる必要がないと感じました。私はもう周りの人の視線を気にせず、パワーリフティング選手たちのように周りの人をサポートし、周りの人が頼れるような人になることに決めました。

高校生は自分が大人のように考えたがっていますが、実際はまだ成長過程にある子供なので、自分にとっても他人にとっても、自分がどんな存在なのかをまだわからない高校生が多いです。もちろん私も高校に入ってから三年間がそうでした。今でもずいぶんサポートをしてもらったのに私は周りの人が頼れる大人になったかどうかわかりません。しかし、わかっているのはここ数年、努力と少し運がよかったおかげで、人を笑わせようと焦っていた痩せっぽちの少年と比べると、まるで別人のような私が皆さんの前にこうして立てるようになったということです。そして、今はもうただの「オモシロいやツ」ではなく、「筋肉マン」と呼ばれています！この筋肉は見た目だけではなく、きっと誰かをサポートできる価値あるものであると信じています。

University/Open Open 1位

占いブーム

チブン・ショウ Zhiwen Zhong

University of British Columbia

みなさんは占いをやったことはありますか。私も多くの若者たちと同じように、何かをすべきかどうか迷った時に、選択を助ける手段として、占いを使います。そして、皆さんは占いの結果をどのように扱いますか。それを信じますか、信じませんか、それともいいことだけ信じますか。占いは紀元前2000年ごろまで遡ることができるそうですが、そのころ、自分の行動を導くために外部の力を使う必要があり、占いが生まれました。そして、科学が発展するにつれて、

占いを含む所謂「非科学」的なものは軽視されるようになりました。ところが、今、占いは世界中、復興の兆しを見せ始め、また急速に広まりつつあります。

一方で、占いに関して否定的な意見も多いです。多くの人にあてはまるほど曖昧で一般的な言葉を使って、人々はこうした説明が自分に合わせて作られたと信じてしまいます。たとえば、「あなたは外向的で社交的な時があれば、内向的で沈黙しているときもある」という説明は、肯定的・否定的な可能性の両方とも述べています。それは、誰にでもあてはまることではないでしょうか。非常に曖昧な表現で、聞き手は自動的に過去の経験を持ち込んでしまい、占いが的中したと感ずります。

でも、科学的教育を受けて育ってきた私たちは、明らかにそれを知っていますよね。一応信じている人も、完全に信じているわけではありません。「占いの結果が良い場合は信じるが、悪い場合はもう一度やり直す」こともよくあるでしょう。

占いは当てにならないとわかっていながら、それを選んでしまうのはなぜでしょうか。私たちは占いから何を徳たいと思っているのでしょうか。

人が特に無力な時に、必要なのは科学的なものではなく、信仰のような外部の力です。迷っている人にとって、占いは自分自身に直面するための鏡なのです。最初は迷っていたことでも徐々に心の中に答えが生まれてきます。そこで、占いの結果や提案が「それでいいよ」と背中を押してくれるのです。コインを投げる原理と同じように、コインが落ちた瞬間に自分が何を望んでいるのかがわかり、自分をもっと正確に理解できるようになります。占いは自分の内なる声を聞くことで、感情的なコミュニケーションと心理的な癒しをくれるのです。

私は高校三年生の時に、志望校のオファーをもらえるかどうか、ずっと不安でした。その間、私は時々お寺に行ったり、神社にいて、学業のお守りを受けたりしましたが、不安は消えませんでした。そんな時、占いをしてみたところ、「何事にも自信を持っていれば、自然と真実は明らかになる」とありました。それは曖昧で、実際にオファーをもらえるかどうかは教えてくれませんでした。それを聞いて、私は、今は目の前のことに集中すべきだと思いました。その結果、不安はなくなり、カナダに留学することができました。

占いであれ、星をみることであれ、お守りをもらうことであれ、すべてはこの不条理な世界に対する対処方法です。このような非科学的なもので、私たちは現実を離れて精神的な癒しを得ることができます。科学で説明できない力が出してくれる明るい未来を通じて、私たちは信念とエネルギーを取り戻すことができるのではないのでしょうか。

University/Open Open 2 位

私の幸せの定義

ヒカル・オズドUMAN Hikaru Ozduman

University of British Columbia

皆さんは、どんな時に幸せを感じますか。

美味しいものを食べたとき、映画を見て感動したとき、仲間と一緒にいるときなど、人はそれぞれにいろんな形で幸せを感じると思います。幸せの意味を調べてみると、心が満ち足りていること、十分に満足している状態とあります。今の世の中、急速に進んでいる地球温暖化、水の汚染、戦争、パンデミック等、幸せを妨げる要素はいろいろあり、常に心が満ち足りている訳ではありません。私自身、いつも心の何処かで何となく不安を感じながら生きてきました。幸せって何だろう。私にとっての「幸せ」とは何なのか、深く考えてみました。

私は、今年大学に入学し、生まれて初めて家族と離れて生活することになりました。最初は、自由を満喫できる大学生活を夢見ていたのですが、現実には、そんなに甘いものではなく、何もかも自分で責任をもって行動しなければならず、想像以上に大変でした。そして、私の家族が、どんなに大きい存在であるのかを思い知らされました。高校までの17年間、両親は、私が不安になることがないように見守ってくれ、毎日の生活を快適に送れるように努めてくれたのです。私は、家族と離れて更に、家族の大切さを身に染みて感じました。私にとって、第一の幸せは、家族の存在と家族の絆があることです。

次に、普通に日常生活を送れることが、幸せなことだと高校時代の経験を通して実感しました。私は、小さいころからバスケットボールをやっていて、高校でも5年間、競技チームの一員として頑張ってきました。ところが、去年、高校最後のシーズンの試合で、足首を捻挫し、その後試合に出ることはできなくなりました。救急病院に行き、幸い骨に異常はなかったものの、一週間ほど強い痛みが続き、歩くことが困難な状態でした。それから、二週間くらい経って、歩く時の痛みがなくなり、次第に足がよくなりました。私は、その時、嬉しくて歩ける事に感謝しました。自分で当たり前だと思っていたことが、どんなに幸せなことなのか、この時の経験で少し分かったような気がします。

最後に、私が特に幸せを感じるのは、ペットと過ごしている時です。私の家には、家族同様に皆が可愛がっている犬がいます。二歳のシベリアンハスキーで、名前はユキと言います。正直に言って、私は小さいころから動物が苦手で、犬を飼うのは乗り気ではありませんでした。犬を飼っても、世話をするだけで、何の得にもならないと思っていたからです。しかし、ユキが来た二年前にその考えは、直ぐに変わってしまいました。そして、この一匹の犬が、私と家族に幸せを与えてくれるとは、思ってもいませんでした。言葉がなくても気持ちが伝わります。可愛いだけでなく、一緒にいると心が安らぎます。動物を愛すること、動物から与えられる愛は、私たち人間にとって本当に幸せなことではないでしょうか。

幸せの定義は、主観であり、誰にでもそれぞれの幸せを見つけることができると思います。私の場合、家族の絆があること、普通に日常生活を送れること、ペットと過ごせることが幸せです。ただ、私にとっての幸せは、周りから与えられていたものが多いです。私は、これまで、自分中心だったり、不満を言ったり、感謝することがあまりなかった気がします。私もこれから大人になり、自分の置かれている環境に感謝し、少しでも他人を思う気持ちになれるように努力しなければいけないと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

University/Open Open 3 位

真っ暗な世界に光を

イリス・チャン Elise Chan

Simon Fraser University

「彼女はとても静かでした。」これは小学生の頃、先生からもらった通知表のコメントでした。内向的で成績が悪かった私は、先生に呼ばれる度に責められる、クラスのグループ分けの時は毎回残されました。やがて、学校で誰にも認めてもらえないと感じた私は自分を守るために、毎日マスクを付けて登校する時期もありました。それなら誰も私に興味を持たないし、私しかない静かな世界に居ることができたからです。

一人の世界は真っ暗で、唯一のドアには鍵が掛かっており、毎日ドアの隙間からは大量の本と課題が届き、それを終わらせるのが私の唯一の任務でした。周りの人より勉強時間が長

かったからなのか、中学生になってからはまさかの学年トップ3まで登り詰めました。突然、優等生の名を背負った私の世界は急激に変わりました。先生たちはみんなの前で私を称賛したり、顔見知り程度のクラスメイトからも連絡が来て、「今日の宿題なに？」「ここわかる？」と聞かれるようになり、みんなに信頼されていると自分に少し自信が付きました。しかし、私は彼らの優しさを素直に受け取ることができませんでした。勉強ができるのは私が真っ暗な世界から手に入れた唯一の取り柄、でもそれはただロボットのように指示に従って、毎日夜遅くまで課題を終わらせていただけ。周りの人はこんな私に近寄ってきて良いように利用するんだろう、私なんてつまらない、自分の意志を持っていない人間なんだ。

徐々に自己嫌悪感に陥るその時、学年一の女の子が私の隣の席になりました。彼女はいわゆるクラスの人気者で、最初は私と違う世界の人だと思いました。ですが、彼女からは親しみを感じ、同じ優等生という名の重みを知ってる人というのもあり、彼女からのアプローチを怖がらず受け取ることができました。次第にほぼ毎日彼女と、そして彼女の友達と放課後に図書室に行ったり、近くにいるお店で混ぜそばを食べたりするようになりました。私は不慣れで、大体一言も発せず後ろを付いているだけですが、彼女はそんな私に嫌な顔ひとつせず何度も何度も話をかけてくれました。そんな私に対して、あの時初めてそこまで優しく接してくれた人です。私から見ると、彼女の行為はまるでゴミ箱の中で宝物を探してるみたいで、不合理で、そして少し愚かでした。しかし、彼女は私が内なる宝物があることを確信していて、それなら私も一回バカになって、それを信じてみようと思いました。

彼女と友達になって7年、成績で競えたり、遊びに行ったり、お互いに支え合って今に至りました。私は話し上手ではないですが、努力家で、チャレンジ精神がある笑顔が素敵な人に成長しました。そして、今日は私だけの話ではありません。見た目はどれぐらい強い人だとしても、弱みや悩みを抱いていると思います。ですが、皆さんは自分の弱みを他人に晒す勇氣を持っていますか？答えは人それぞれだと思いますが、私たちはよく弱みを強みに変えろ、悩みを隠すように言われ続けたのではないでしょう。私たちは実際すごく傷つきやすいのに、強いふりをしなければいけないです。私は以前学校の成績で自分の弱みを隠そうとしていましたが、今は学校の成績よりも、自分の弱みを見せ合える仲間がいる方が誇らしいだと思います。私にとって、真の強さとは、弱さを自分の一部として素直に受け入れること、そして他人の弱さを否定せず、彼らを支えること。私の友達みたいに私を真っ暗な世界から連れ出して、私の人生を照らせる光をくれました。最後に、この話は誰かの小さな光になることを願っています。

ご清聴ありがとうございました。

University/Open Outstanding (Open)

春桜 夏蝉 秋葉 冬雪

シハン・ユン Xihan Yun

Simon Fraser University

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる 雲のほそくたなびきたる。

このテキストは、平安時代の作家、清少納言の『枕草子』からです。一日中の一番良い景色はすべて「をかし」です。しかし、「をかし」という言葉は何度も出てきて、それをどう説明すればいいのでしょうか。

『枕草子』といえば、清少納言と藤原定子の感動的な友情に言及しないとイケません。定子は13歳の頃、一条天皇の中宮となり、清少納言が彼女の女房でした。二人は和歌と漢詩が上手で、意気が投合しました。長徳の変で、叔父の道長は権力を奪って、関白になりました。定子は出家を余儀なくされ、従妹の彰子は中宮になりました。清少納言もやめました。ある日、清少納言は定子から書き続けるよう励ます手紙を受け取りました。一枚の山吹の花びらは「言はで思ふぞ」と書かれました。天皇は昔の思いを胸に、定子を迎えました。悲しいことに、一年後、定子は難産で亡くなり、清少納言は宮廷を離れました。

彼女たちの友情は、当時の社会関係を超えていました。『枕草子』という本の中の美しい景色はすべて、心の状態から生まれたのです。頻出しているのに詳しく説明しにくい「をかし」という言葉は、目の前の情景に触れて溢れてきたものだと思います。子供の頃、私には幼なじみ男の子がいて、近所の人たちはいつも、将来はきっと一緒にいるねと冗談を言っていました。その時、私たちは一緒に花を折ったり、涼んだりして、紅葉を葉として、降った雪の上に文字を書いたりして、それも「をかし」という言葉にぴったりだったと思います。それから私たちは違う国に行き、それぞれ自分の新しい人生をしました。会ってか4年が経ち、彼には自分の彼

女がいます。また会うと、もう遠い昔のことのような気がするかもしれません。そして、子供時代の遊び仲間も世界中に散らばっています。

平安京は相変わらず繁栄していましたが、定子はこの世にいませんでした。これらのすべては清少納言にとって、かつての幸せな思い出は、苦しいものになりました。『枕草子』の明るくて「をかし」光景を書くことができなくなりました。故郷の景色は相変わらず美しく、記憶の中の風景の中で、過去の私たちではありません。

春夏秋冬が、人生において繰り返しています。この季節の移ろいの中、私たちの心の状態は変わっていきます。景色は似ていますが、花や葉は去年のものではありません。周りの人々はさらに言うまでもないでしょう。遠いなのに、物心がついてから、毎日ニュースで目にしていた人も、去年の晩秋に残念ながらこの世を去ってしまいました。しかし、過去の風景や思い出は私たちの記憶の中にはその時のままで留まっているかもしれません。それらは写真で残しているのだけではなく、心に深く残っています。

春には桜が咲き始め、すべてが目覚め、花びらが長い髪と頬を撫でます。夏には蝉が突然鳴き始め、花火が空に輝きます。秋には紅葉が燃え上がる炎のようです。冬には雪と氷が溶け、すべてのものは徐々に静まり返ります。こうして見ると、私たちの世界は十分に「をかし」です。